

科目区分	専門基礎分野	科目名	病理学総論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学期	第2学期
担当講師	(院内講師)、(院外講師)			実務経験	有
科目目標	1. 疾病の原因となる身体的な異常や障害など病理学の基礎について理解する。 2. 人体の構造の実際を見て、統合を図る。				
授業計画	第1～12回 (講義) 1. 病理学の概要 1) 病理学とは ・病気の原因(内因、外因) 2. 臓器、組織、細胞とその変化 1) 退行性病変、物質代謝異常 3. 組織の修正と再生 1) 肥大と過形成、再生 2) 創傷治癒と肉芽組織 3) 異物の処理 4) 移植 4. 循環障害 1) 充血、鬱血、出血、血行静止 2) 血栓症、塞栓症、梗塞 3) 体液の循環障害 5. 炎症 1) 炎症の定義 2) 炎症の過程 3) 炎症分類 6. 免疫異常 1) 免疫の機序 2) 免疫担当細胞 3) アレルギーとアナフィラキシー 7. 感染症 1) 感染の宿主と防御機能 2) 感染症の治療と予防 8. 腫瘍 1) 腫瘍の定義 2) 腫瘍の形態 3) 腫瘍の広がり方 4) 転移 5) 良性と悪性 6) 悪性腫瘍(肉腫と癌腫) 7) 腫瘍の原因 9. 先天性異常 1) 形態異常と機能異常 2) 遺伝子の異常 3) 染色体の異常 4) 胎芽期の障害と胎児の障害 5) 奇形の種類 10. 病理検査 第13回 まとめ、終了試験 第14～15回 香川大学医学部(見学実習) 解剖見学：骨格系、呼吸器系、循環器系、消化器系、神経・血管系				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 病理学 医学書院 系統看護学講座 解剖生理学 医学書院				
講師からのメッセージ	遺伝と遺伝子、遺伝子の発現と調節、遺伝情報の伝達、上皮とその細胞、生体の感染防御機構、サイトカインとそのほかの細胞間情報伝達物質、免疫に関与する細胞、抗体、補体、液性免疫と細胞性免疫、アレルギー、組織適合抗原とHLA、ビリルビン代謝、血圧の調整、老化のメカニズムと細胞・組織・臓器の変化など、国家試験出題基準を確認し学習すること。				